



鉄道友の会 選定

2017年 島 秀雄記念優秀著作賞決定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
 - ・ 大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）

- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）

- 特別部門（3件）
 - ・ 戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
 - ・ 「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
 - ・ 「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

鉄道友の会（会長・須田 寛、会員約 3,000 名）は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会（選考委員長・高井 薫平）による選考のもと、2017年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門1件、特別部門3件の合計6件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2017年11月12日（日）を予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2017年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■ 単行本部門（2件）

- ・中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
- ・大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）

■ 特別部門（3件）

- ・戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
- ・「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
- ・「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

■ 単行本部門

中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）

本書は、イギリス、アメリカ、ドイツから日本へ輸入された蒸気機関車について、当時の国際情勢や国際競争、日本への進出、日本の鉄道技術の発達と機関車輸入、機関車の国産化の試行、国産化の確立などの視点で、鉄道開業時から大正時代あたりまでの経緯を、豊富な資料に基づいて解明した著作です。特に、輸入にあたって海外のメーカーと日本の鉄道会社の間に入った商社の存在や、技術者の存在にも幅広く目を向けており、従来の形式番号や所属の変遷が主体であった蒸気機関車史とは異なった視点による著作として、高く評価されます。蒸気機関車史に新たな解釈を加えた著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）

本書は、世界における路面電車の発展史を概観した著作で、日本にも導入されたPCCカーや、東ヨーロッパ圏で普及したタトラカーの誕生について、多くの文献をもとに技術的な視点で考察されています。また、著者自身の撮影による海外の路面電車の写真が豊富に紹介され、史料的な価値も高い著作となっています。電車が営業運転を始めた1880年代からはじまり、1990年代の日本の低床式電車の発展に至るまで、当時の海外の技術や、メーカーの動向とも関連づけて解説され、新たな視点による著作としても高く評価できます。長年にわたる研究成果が反映された著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 定期刊行物部門（1件）

フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）

この著作は、鉄道分野でも急速に普及しつつあるハイブリッドシステム全般について、現時点での状況を技術的な視点からまとめた著作です。「ハイブリッド」の概念や定義についてはまだ十分に確立されていませんが、本著ではその基となった自動車分野での発達から、鉄道車両分野への移転、過去の鉄道車両における要素技術（蓄電池や電力回生など）の発達などを含めて、その発達史をわかりやすく解説しています。専門家以外にはわかりにくい駆動メカニズムの違いなどもイラストで的確に表現されており、最新技術をわかりやすく解説した著作として島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■ 特別部門（3件）

戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）

受賞者は、駐留アメリカ軍軍属として来日し、戦後日本の鉄道情景を撮り続けましたが、その成果を「昭和30年代鉄道原風景」（JTBパブリッシング・2006）、「昭和30年代乗物のある風景」（同・2007）などの著作として出版し、去年はNPO法人名古屋レール・アーカイブスに所蔵されている写真を基に「東京オリンピック開催を前にした首都圏の鉄道情景」が「鉄道ファン」誌に連載されました。これらの写真は、コダクロームを用いたカラー写真で撮影された点に特徴があり、当時の鉄道の姿をリアルに甦らせています。数々の出版物を通じて貴重な写真を公開した功績を高く評価し、島秀雄記念優秀著作賞特別部門に選定しました。

「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）

本書は、「昭和天皇実録」を典拠として昭和天皇が利用した御召列車の運転記録を再整理した資料で、皇孫時代の1901（明治34）年から、崩御直前の1988（昭和63）年までが集大成されています。単なるデータ集では終わらせず、エピソード、写真、図版なども豊富に掲載されていることや、全カラー印刷として見やすくした誌面構成など、読物としても読者を飽きさせないよう心がけた編集者の工夫が随所に見られます。本書は御召列車の運転記録を通じて昭和天皇が全国各地に残された足跡を浮き彫りにしており、貴重な記録を集大成した編集部の功績を高く評価して、島秀雄記念優秀著作賞特別部門に選定しました。

「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

本書は、北海道北見営林局管内の置戸森林鉄道に関する記録を丹念に拾い、これまでほとんど明らかにされていなかった道内最古に属する森林鉄道の実態、車両、地域住民との関わりを明らかにした労作です。北海道における林業の形成過程や林業と森林軌道のつながり方も良く分かり、巻末の資料も充実して書籍としての完成度も高い著作です。著者は故人とされましたが、鉄道趣味に対する御遺族の理解のもとに自費出版されたことは、貴重な鉄道史料が散逸する中できわめて意義あることで、貴重な史料をまとめられた功績と、その遺志を継いで自費出版された功績を讃えて、島秀雄記念優秀著作賞特別部門に選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回が第 10 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門 定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、過去 3 年間(今年は 2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員から推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 10 名(委員長・高井 薫平)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2017 年 1 月より推薦受付を開始し、2017 年 3 月 17 日(金)に締切り、単行本部門 19 作品、定期刊行物部門 9 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 第五 DMJ ビル 3 階

鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：大庭、小野田

Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL <http://www.jrc.gr.jp/>

<添付資料>

第1回（2008年）選定

■ 単行本部門

- ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
- ・ 関田 克孝「のりもの絵本－木村貞男の世界－」フレーベル館

■ 定期刊行物部門

- ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
- ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
- ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）

■ 特別部門

- ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

■ 単行本部門

- ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
- ・ 湯口 徹「日本の蒸気動車」ネコ・パブリッシング
- ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社

■ 定期刊行物部門

- ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）

■ 特別部門

- ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

■ 単行本部門

- ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
- ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
- ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
- ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）

■ 定期刊行物部門

- ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■特別部門

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」樞歌書房（2010）

■定期刊行物部門

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2作品）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1作品）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2作品）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

第9回（2016年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）